

Wellcare 通信



介護付有料老人ホーム

ウエルケア伊豆高原

第148号 平成27年11月発行

ご意見・ご相談は 0557-54-0054

ウエルケアデータ

入居者数30名 平均年齢 88.03歳

平成27年11月1日現在

〒413-0232 静岡県伊東市八幡野1741-266

株式会社 《お問い合わせ先》 info@wellcareizu.jp



施設情報

入居相談などお気軽にお問い合わせ下さい。
詳しくは Web「[ウエルケア伊豆高原](#)」で今すぐ検索!!



ミニ運動会

今年も10月25日にミニ運動会を行いました。本当に涙あり笑いありの楽しい運動会でした。写真でその雰囲気伝わりますか？



フティックみき来館

10月12日に施設内において、フティックみきさんが来館されまして、衣類販売を行いました。洋服が欲しいと思っても、なかなか外出するまでに至らない方も楽しくお買物をしていました。おしゃれを楽しむことで乙女心(?)が刺激されたのか普段見ることのできない表情を拝見することができました。また、折を見て企画したいと思います。

祝長寿

10月は誕生日の方が4名いらっしゃいました。お名前は伏せさせていただきますが、それぞれ94歳、87歳、86歳、99歳(順不同)になられました。ウエルケア伊豆高原が全国の老人ホームの平均年齢である85歳を上回る88歳で推移させていただいているのは、みなさんの笑顔が原動力になっているのだと思える誕生会でした。



お散歩



今年は厳しい残暑もなく、すんなり秋になったような・・・そんなある日、何回かに分けて、本当に短時間ではありますがお散歩に出掛けました。施設の周りを中心に目的も持たずに、雑談しながらの軽いお散歩。どうしても建物内で過ごす時間が長くなるので気分転換には最適でした。秋の風を感じながら空や山を見ての散歩は、利用者だけでなく職員にもリフレッシュの効果があったように思います。

一年のうちで過ごしやすい時期は本当に短くて、それを上手に感じる事ができた楽しい時間でした。

本に紹介されました

10月1日にPHP研究所から出版されました『あの介護施設はなぜ、地域一番人気になったのか!! ～「想い」と「経営力」で進化する17法人～』（糠谷和弘先生/齋藤直路先生 編著）という本にウェルケア伊豆高原が紹介されました。内容につきましては、編著者であるお二人が全国を渡り歩き、自分たちので目を見て、取材やインタビューをする中で『これは!』と思う17施設を紹介している本になっています。その中でウェルケア伊豆高原は2番目に紹介されています。

これはひとえに良い雰囲気を作って下さる利用者の皆様のおかげであると同時に、手前味噌になりますが、介護士や看護師、調理、清掃担当に至るまで全社員の日々の頑張りが報われたものだと思っております。これからも紹介され続けるような施設であるために、日々研鑽を重ねて行きたいと思っております。

また、施設でもこの書籍を購入させていただきました。ご希望があれば、贈呈させていただきますので在庫の有無をお問い合わせください。是非、皆様にご一読いただいて感想などを聞かせていただきたいと思いますと思っております。



↑
本の外装



↑
施設の外観



↑
創業者である先代の故葛城喜良

静岡県の指導調査と実地指導を受けました

9月16日に静岡県が行う老人福祉法に基づく『指導調査』と、介護保険法に基づく『実地指導』を同日に実施していただきました。

普段から当たり前のように行っている介護や介護事務も定期的に外部の目を見ていただくことは非常に大切な事だと思っております。その中で、より良くしていくための助言であったり、法的に不足している部分の指導であったりを頂戴しながら改善や進化をしていきます。

また、連日の報道によりご存知の方も多いと思いますが、今、老人ホームの世界は虐待疑惑の問題で揺れています。それゆえに、ウェルケア伊豆高原としては、細かいところまで見ていただけたことで、皆様にもこれからも安心して利用していただけたらと思っています。このような改善や進化を地味ではありますが着実にやっていって、より安定した日常を提供させていただけるように社員一同頑張っていきたいと思っております。

なお、静岡県から正式に文書による助言であったり指導を賜りましたら、改めてこのウェルケア通信でご報告させていただきますと思っております。

11月の予定

- 11/ 3 (火) 秋の収穫祭
- 11/ 7 (土) セーノコーラス来館
- 11/17 (火) 防災訓練
- 11/18 (水) 三島信用金庫来館
- 11/25 (水) 移動美容室はしば来館

- 毎週水曜 こんがりあん移動販売
- 毎週水曜 ナガヤ買い物ツアー
- 毎週日曜 沐浴日

編集後記

今回、初めてウェルケア通信を作成させていただきました。文章作成から校正に携わらせていただいて、悪戦苦闘しながらなんとか締め切りまでに校了することができました。

稚拙な文章と慣れない構成に戸惑う方も多いかとは存知ですが、長い目を見ていただきたいと思います。

高校生のころは新聞部に所属していながら幽霊部員であった過去の自分を悔やみながら、とりあえず、今晚は枕を高くして眠りたいと思います。(K)